



# 植生アドバイザー 育成講座

東京農業大学総合研究所研究会  
みどりの環境創造研究部会  
一般社団法人 日本植木協会



# 自然環境、再生について、深く知りたいあなたに!

あなたの周りにはいろいろな植生の広がりとそこに生育する植物たちがいる

朝日新聞出版 2012年5月号「月刊ジュニアエラ」  
イラスト：高橋悦子

## 都市景観

総和群集名：ギンゴケ - ツメクサ総和群集  
植物群落：メヒシパー エノコログサ群落  
ブタクサ群落

## 森林景観

総和群集名：クリ - コナラ総和群集  
植物群落：ヤマツツジ - アカマツ群集  
スギ・ヒノキ植林

## 河川景観

総和群集名：ツルヨシ総和群集  
植物群落：夕チヤナギ群集  
ネコヤナギ群集

## 田園景観

総和群集名：ウリカワ - コナギ総和群集  
植物群落：ノミノフスマ - ケキツネノボタン群集  
ミゾカクシ - オオジシバリ群集

# 植生や自然環境を深く学びたいあなたには、この二つ!

## 植生について実践的に学べる講座

☞ 「植生アドバイザー育成講座」 ※全コース履修で「植生管理士認定試験」の実技試験が免除

## 植生のプロの技術者を認定する資格

☞ 「植生管理士認定試験」

いずれも、植生の分野で権威の東京農業大学教授 中村幸人先生監修のプログラムです。その優れた内容が認められ、環境省・農林水産省の「人材認定等事業」に登録されています。



# 「植生アドバイザー育成講座」について

目の前にある自然環境を正確に調査して、適切な森づくりの計画を策定・指導できる人材を育成するために、「植生アドバイザー育成講座」を平成15年より毎年実施し、受講者を広く一般から募集しています。

この講座では、様々な自然環境(植生)の成り立ちについて理論的な学習と、実際に野山に入っ行う植生調査実習を行います。植生復元や自然再生を確実にを行う為の人材を輩出するためには「植生」を実践で理解し、そこに生育する植物から環境条件を正しく読み取る力が必要と考えるからです。

カリキュラムはAコースからCコースの3つで構成され、各コース3泊4日のプログラムを一年ごと受講して頂くことで、段階的に知識と技術を習得できるように編成されています。開催場所は群馬県利根郡川場村で毎年8月下旬に行われています。標高500m以上の山々の中、豊富なフィールドで様々な環境を見ながら植物について学べます。

この講座は、その優れた点が認められ、平成22年度に、環境省・農林水産省の「人材認定等事業」に登録されています(詳しくは環境省HPにて)。また当講座

## 講座の内容 (平成28年時点)



### 植生調査基礎コース

講師: 東京農業大学 鈴木伸一先生

植生学の基礎・日本の植生・  
植生調査野外実習とデータ解析

植生調査の方法と意義を学び、実際に野外での植生調査技術と知識の習得を目指します。

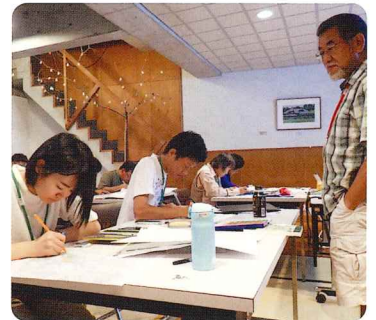


### 植生景観基礎コース

講師: 東京農業大学 中村幸人先生

植生景観の基礎・植生景観調査方法・  
植生景観調査の野外実習とデータ解析

様々な植生が作り出す「植生景観」を学び、自然環境と人間の営みも含めた植生環境の広がりの中で調和のとれた景観の創出のための最適な植生を導き出すスキルを養います。



### 植生復元・モニタリングコース

講師: 東京農業大学 福永健司先生

(有)バースデザイン 小室武利先生

生態学的緑化方法、生態学的手法に基づいた植栽計画、  
モニタリングと計画、植生復元工事の実習とデータ解析

植生調査のデータから植生復元計画を立案するための工法、樹種や植栽数量の選定など実践的なスキルを習得します。また実際の試験植栽地でのモニタリングを行い、維持管理の方法も学びます。

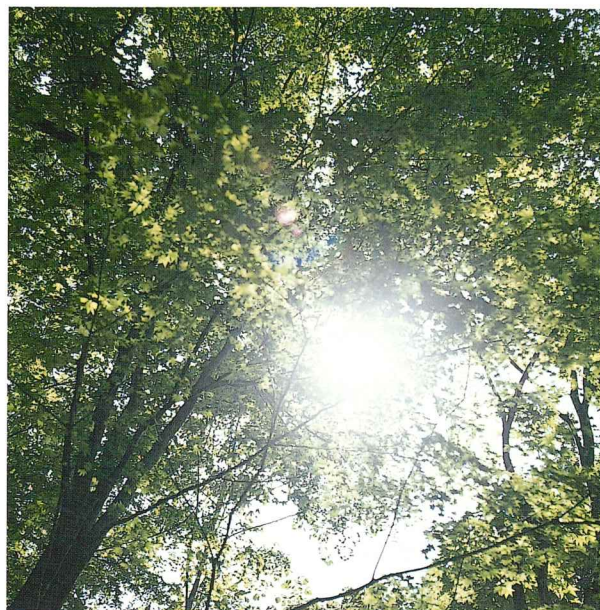




は、造園CPDと全国土木施工管理技士連合会 CPDSにも登録しており、多くの単位が取得できる点も、業務に役立てることができます。

講座では、国内の第一線で活躍されている講師の方々に、その専門ごとの講義をしていただき、密度の濃い内容となっています。

また、A～Cのすべてのコースを履修すると、「植生管理士認定試験」の実技試験が免除になります。講座の詳細は、(一社)日本植木協会のホームページをご覧ください。



## 受講者の声

### Aコース 中田さん(埼玉県)

園芸品種を中心に植木の生産に携わっている中で、実際に自然の山の中に原種となる植物がどのように生育しているのかに興味がありました。植物の同定には自信がありませんでしたが、詳しい先生と一緒に山を歩いたことで植物の見方が少し分かった気がします。座学では組成表の表組みなど難しい部分も一人では出来ない体験ができて大変面白かったです。

### Bコース 渡邊さん(東京都)

在来種緑化を進めるため、植生についての知識と技術を身につけようと受講しました。植生調査から景観を評価し緑化計画を立てて実行することは、知識と熟練が必要な専門技術で、それを身につけることでより自然を理解でき、自然をうまく使えるのだと実感しました。講座の内容を日常の業務で実践し、環境から植生が見えるほどに植生を使いこなす技術者を目指したいと思います。

### Cコース 酒井さん(長野県)

公園等の設計業務において、地域の自然・生態系への配慮が求められる中で、現場での自然の捉え方や植生データの読み取り方、設計への活用などについて学びたく受講しました。専門知識が足りない上での受講は大変でしたが、座学から実習の一連の流れで学ぶことができたのは大変有意義でした。今後も様々な現場での研鑽を重ねつつ、自然のメカニズムや植物の潜在能力を上手く活用した緑化など、業務に活かしていきたいと考えております。



## 植生を調べてわかること

「植生」とは、いわば山や野原を覆っている「緑の衣服」です。この緑の衣服はたくさんの植物で構成され、その場所の環境に合った植物の組み合わせ（植物群落）になっています。ひとつひとつの群落について、その違いや構成種を調べることで、元々の植生や現在の遷移の過程、その場所の環境条件や人間などが与えている影響の強さなどを判断することができます。

正しい知識と調査データに基づく植生復元計画を立てるためには、植物の同定ができ、植生を調

査して植物群落とその構成種を明らかできるスキルが必要です。そのスキルを実践で学ぶ講座が、「植生アドバイザー育成講座」です。

植生を学ぶことは、それぞれの種(植物)がどのような自然環境下に見られるものか、また他のどのような植物と一緒に生育しているかを、深く理解することにも繋がります。その知識と経験は、植栽計画や緑化工事など多方面に於いても、環境に合った植物を用いた持続可能な生態系の機能する空間を作るために役立つでしょう。

## 人と自然の共生のために、いま必要なこと

生態系の一部である「人間」は、他の生命体と共生しないと生きていくことが出来ません。現在、地球上の森林が急速に失われつつありますが、植物は人や動物に不可欠な酸素を作り出すだけでなく「森が失われた文明は滅ぶ」という歴史的事実を捉えても、私たちの周りに豊かな「みどり」を再生することは急務といえます。

私たちは、環境に適した「みどり」を再生することのできる人材を輩出しています。それは、植物についての正しい知識を持ち、植生を調査して得

られるデータを利用して植生景観のまとめりから土地診断、緑化計画、緑の保全・再生整備計画などを立案できる人材です。

持続可能な「みどり」を再生するプランには、基礎的知識と具体的なデータが不可欠です。それらが無いままにプランを立てると、その土地の環境や気候に適合せず、生態系の十分機能しない「みどり」となってしまう可能性があります。また、本来の生物多様性を失わせたりするかもしれません。

### こんな目的の方に役立ちます!

- 🌿 植生調査～植生復元を一貫してできる技能を習得されたい方
- 🌿 植生調査の方法を実践で学びたい方
- 🌿 持続可能な森づくりのために、現地の環境に適した植栽計画を立てたい方
- 🌿 保全・保護対象の植物について、周辺環境を含めた保護計画を立てたい方
- 🌿 様々な植物の生育適地をより深く理解されたい、設計・施工者のスキルアップに
- 🌿 自然と調和した都市計画を立てる自治体担当者のスキルアップに





# 「植生管理士認定試験」について

「植生管理士認定試験」は、植生復元の際に必要となる植生学などの基礎的知識や、植生調査・データ解析を実行する能力を有している技術者を「植生管理士」として認定する試験です。この認定試験は、その確かな内容が認められ、平成25年度に環境省・農林水産省の「人材認定等事業」に登録されています。

一次試験(学科試験)と二次試験(実技試験)があり、植生アドバイザー育成講座の全過程修了者は二次試験が免除されます。

試験の詳細は、(一社)日本植木協会のホームページをご覧ください。

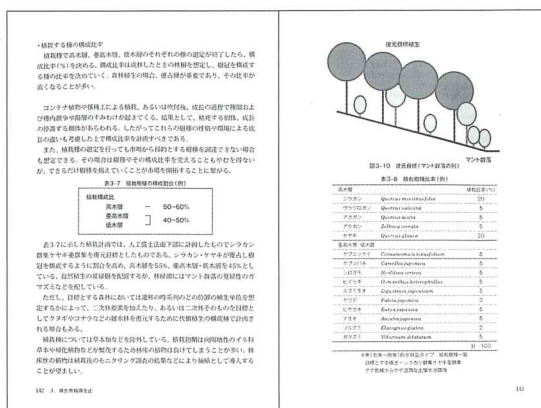
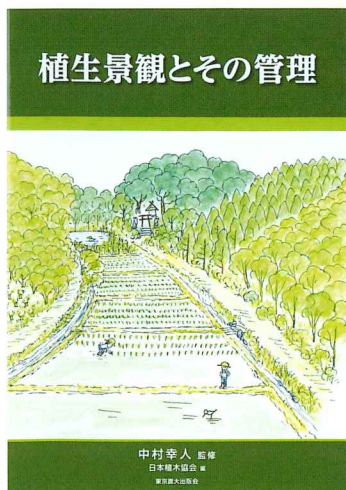
## 受験資格

林業・農業・園芸・造園・環境科学系に関する大学に在籍ないし卒業した方、または、同様の実務を3年以上経験し、同等の技術と知識を有する方

## おもな試験内容

学科試験:植生学、植生景観、植生復元管理技術、安全管理について  
 実技試験:植物の同定、植生調査、群落単位にもとづく解析について

## テキストの紹介



5人の先生方が植生の捉え方から調査、立案、それに対する工法を詳しく解説。また、それぞれの地域にある景観の調査、保全、創出の考え方から方法まで丁寧に解説しております。

## 植生景観とその管理

東京農大出版会  
 ISBN978-4-88694-0 C3061  
 2,700円(本体:2,500円)

(一社)日本植木協会は、森づくりに必要な樹木の生産者の全国組織で、タネから何年もかけて樹木に耐える大きさの苗を育てています。人と自然の本当の共生を目指すため、森づくりや植樹を計画する際には、そこにある自然環境をきちんと調査して、その目的に適した樹種を選択してほしい、というのが私たちの願いです。そのための知識と技能を身につけ、適切なみどりの計画を策定・指導できる人材を育成するために、「植生アドバイザー育成事業」と「植生管理士認定試験」を実施しています。

一般社団法人 植木協会公式サイト <http://www.ueki.or.jp>

植生調査委員会 公式フェイスブックページ <https://www.facebook.com/we.love.vegetation/>



一般社団法人日本植木協会 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂6丁目4-22 三沖ビル3階 TEL:03-3586-7361 FAX:03-3586-7577 E-mail:honbu@ueki.or.jp